中京大学附属
中京高等学校 同窓会報
学校法人 梅村学園　中京大学附属中京高等学校　同窓会　第29号

畏敬の念

同窓会会長　佐藤　隆

同窓会報第二十九号が刊行されるにあたり、例年のようにご挨拶を申上げます。会長職に就きまして六年目を迎えることになりましたが、ますます同窓会長の重責を感じています。出来る限りの努力を致しますので先輩諸氏、また後輩の皆様のご協力をお願い致したいと存じます。

梅村学園はさらに発展を続けています。例えば、中京大学の名古屋校地には快い槌音が響いています。旧本館の跡地とさらに東や北の広大な土地を利用して、地上12階地下1階の新管理研究複合棟がほぼ完成し、事務部門は移転を完了しました。また、その東には地上7階地下1階の教育研究棟の建設が進められ、名古屋図書館は付属棟に続いて、ラーニングコモンズ機能などを備えた多機能の閲覧室が完成します。同時通訳のできる500人収容の学術ホールも、4月からは稼働します。これによっていっそう素晴らしい教育環境が整います。

フィギュアスケートの世界では、中京大学生の浅田真央選手の華麗な演技、中京大中京生の村上佳菜子選手の素敵な笑顔を目にすることができました。両選手の大活躍は、在校生には当然、卒業生の我々にも多くの勇気と希望を与えてくれました。

政権が交代し、新たな日本丸が出航しました。希望にあふれる未来、明るい社会を祈念したいと思います。奈良時代の『万葉集』は、山部宿禰赤人が富士の山を望む歌一首

并せて短歌

天地の　分れし時ゆ　神さびて　高く貴き　駿河なる　富士の高嶺を　天の原　振り放け見れば　渡る日の　影も隠らひ　照る月の　光も見えず　白雲も　い行きはばかり　時じくそ　雪は降りける語り継ぎ　言ひ継ぎ行かむ　富士の高嶺は

（③三一七）

反歌

田子の浦ゆ　うち出でて見れば　ま白にそ　富士の高嶺に　雪は降りける（③三一八）

と山部赤人の富士山を載せています。同窓会報第27号で「豊作を約束する雪」として「反歌」を紹介しましたが、今回は直前の「長歌」も併記しました。有名な反歌に対する解釈は、教科書等の教育上の観点から、一部が誇張されて説かれています。長歌短歌の全体の解釈から見れば少し不足しています。

長歌には、「天地の分れし時ゆ神さびて高く貴き駿河なる富士の高嶺」とあります。赤人は、天地創造の悠久から神山として高くそびえ立つ駿河国の富士山を捉えて詠んでいるのです。また、「語り継ぎ言ひ継ぎ行かむ」とあります。

活火山としてモクモクと噴煙をあげ、太陽の光も月の光も届かない様、一方で、雪を一年中頂に置いている様を、長く語り継いでゆこうと詠んでいます。ここには、たんに富士山の美しい景が叙景歌として詠まれているだけではありません。ここには赤人を始め奈良時代の人々が抱いていた富士山に対する畏敬の念が根底にあるのです。この自然に対する畏敬の念を大事にしたいのです。決して奢ることなく、謙虚な姿勢で自然と共存することが重要と考えます。

このような畏敬の念は、人事にも通用するものと思います。けっして奢ることなく謙虚さも合わせ持って、生きてゆきたいと存じます。

ご挨拶

梅村学園理事長　小川英次

中京大学附属中京高等学校の同窓会報（第29号）が刊行されるにあたり、梅村学園の近況をご報告申し上げます。わが国は、東日本大震災とこれに伴う原発事故の発生から2年目を迎え、震災直後の〈復興〉の掛け声が、時間の経過と共に、その熱意が薄れてきているように思えてなりません。被災された方々の窮状は1年半経過した今も、それほど劇的に改善されたとは言いがたい状況にも拘らず、政府復興予算の各省庁による、復興以外の目的のための転用、あるいは、復興とはいかにも遠い目的に託（かこつ）けた予算の獲得合戦など目を覆いたくなります。今もなお、自宅を震災や津波によって失い仮設住宅暮らしを余儀なくされている被災者や、放射能汚染による立ち入り禁止のため、ふるさとを遠く離れての生活を余儀なくされている被災者のことを思うと心が痛みます。一方、目を世界に転じますと、相変わらず、政変、金融、信用不安による欧州危機はさらに混迷の度合いを深め、いつ、欧州発の世界恐慌が起こってもおかしくない状況下にあります。いささか気の重くなるニュースが続くこのごろです。

このような状況ではありますが、附属高校は堅実に発展の歩みを続けております。年に2回開催されますオープンスクールには2000名以上の中学生が本校を訪れ、多くの、ご父母の方々もご一緒に参加され、熱心に私どもの説明を聞いていただき、志願者は毎年3000名を超えています。2007年度からスタートした中京大学との「高大連携の改革」は今年5年目を迎えました。7年間一貫教育を実施することによって、生徒・学生個々に個性の自覚と涵養を促し、高校2年次ないし3年次といった早期から大学の各学部専門分野に対して学問的関心を抱いて、専門的に高度な問題を自ら発見し解決する能力の養成を目指しています。すでに、付属校出身者が大学在学中に難関資格の公認会計士や国家公務員総合職〔旧国家公務員1種〕の合格者も出

PTAだより

総会

平成24年度PTA総会は4月28日に本校体育館で開催された。常任委員はじめ多くの父母の参加いただき、先の常任委員会の審議事項を報告し了承された。

平成24年度PTA役員（敬称略）

会長　櫻井哲三
副会長　川本理美　長谷川孝司　水野信幸
書記　倉知　忍　石谷明美　馬場惠理　所留里子　牛田克子　長谷川利江　柴田則子　臼田泰典　堀田正己
会計　三澤智恵　掛下惠美子
会計監査　奥村佳代子　二俣元春

審議事項
1、平成23年度活動報告及び決算報告
2、平成24年度役員選出
3、平成24年度活動計画並びに予算
※本年度の取り組みについて（学校長）

平成24年度PTA活動計画

- 4月14日（土）平成23年度PTA役員・常任委員会
- 4月28日（土）平成24年度PTA総会
- 5月19日（土）第1回PTA役員会常任委員会
- 6月5日（火）あいさつ運動
- 6月23日（土）第2回PTA役員会常任委員会
- 6月29日（金）中京大学見学会
- 7月20日（火）「PTAだより」第54号発行
- 9月8日（土）第3回PTA役員・常任委員会
- 9月（愛のパトロール）保護者会連合会名古屋支部校外補導
- 9月28日（金）第90回学園祭文化祭
- 9月29日（土）バザー・ママカレー
- 10月合同補導
- 10月27日（土）PTA社会見学
- 平成25年1月26日（土）第4回PTA役員・常任委員会
- 2月28日（木）「PTAだより」第55号発行

新入生オリエンテーション

4月6日（金）の入学式後、保護者に高校生活の説明会。9日・10日に基礎学力テストと11日・12日に新入生オリエンテーションが行われた。オリエンテーションでは学校の沿革、学校生活、進路状況、校舎案内や部活動紹介が行われた。

校内オリンピック

6月5日（火）、好天に恵まれ校内オリンピック大会がグランドと体育館で開催された。クラス全員が各種目に出場し熱戦をくり広げ、クラスの親睦を深める絶好の機会となり、楽しく一日を過ごした。

学園祭

第90回学園祭9月26日に体育祭を行い、文化祭は9月28日～29日に行われた。体育祭は好天に恵まれ、クラス対抗リレー、クラブ対抗リレー等に熱戦をくりひろげた。文化祭はクラス・クラブの発表や展示、模擬店、PTAバザーなどがHR教室、特別教室、体育館、ラウンジ、校庭で行われた。29日は一般公開して大盛況だった。

学園祭（PTAバザー・模擬店）

第90回文化祭で父母から提供品のPTAバザーが開催された。模擬店では「ママさんカレー」が販売され大盛況であった。

卒業生を送る会

（名古屋市公会堂）2月18日

吹奏楽部の演奏に引き続き、思い出スライド、合唱、ハンドベル、チアリーデング部、ダンス部、バンド研究会、生徒有志のアトラクションが盛大に行われ、先生企画、記念品贈呈式、閉会セレモニーで終了した。

PTA社会見学

PTA社会見学は10月27日、父母50名、教職員3名の53名が参加し秋の京都&清水散策へ8時15分（栄）テレビ塔前からバス2台で出発した。甘春堂・京菓子づくり体験～知恩院・和順会館で昼食～清水散策をして17時40分栄に到着し解散した。参加者一同秋のひとときを楽しみ有意義な一日を過ごし見聞と親睦を深めた。

ホームページ、連絡先について

中京大学附属中京高等学校ではホームページを開設しました。ご利用下さい。

http://www.chukyo.ed.jp/

〒466-8525　名古屋市昭和区川名山町122 中京大学附属中京高等学校
TEL(052)761-5311　FAX(052)752-5488